

定例会議資料	令和4年の特殊詐欺の認知・検挙状況等について	令和5年2月15日 生活安全企画課・組織課
--------	------------------------	--------------------------

※ 数字は暫定値、金額は四捨五入

## 1 認知状況

## (1) 件数・被害金額

【全国】 17,520件（前年比+3,022件）、約361.4億円（前年比+約79.4億円）

【県内】 32件（前年比 + 1件）、約4,588万円（前年比+約 302万円）

## (2) 県内における被害発生傾向

令和4年 高知県内 類型別認知状況	件数	被害額（約）
オレオレ詐欺	4	605万円
預貯金詐欺	1	—
架空料金請求詐欺	10	2,392万円
還付金詐欺	14	1,359万円
融資保証金詐欺	1	152万円
ギャンブル詐欺	1	80万円
キャッシュカード詐欺盗	1	—
合計	32	4,588万円

令和4年 高知県内 交付形態別認知状況	件数
振込型	17
電子マネー型	6
現金手交型	4
キャッシュカード手交型	2
キャッシュカード窃取型	1
現金送付型	2
合計	32

## 2 検挙状況

## (1) 件数・人員

【全国】 6,629件（前年比+29件）、2,469人（前年比+95人）

【県内】 7件（前年比-13件）、7人（前年比-5人）

## (2) 主な検挙事件

ア 架空の融資会社を騙る融資保証金詐欺事件

防犯カメラ捜査等により出し子被疑者2名を特定の上、それぞれ東京都内と大阪府内の潜伏先で逮捕した。

イ 老人ホーム入居権に絡むトラブル解決名目の架空料金請求詐欺事件

被害者協力の下「だまされた振り作戦」を実施し、仮装現金の送付先である東京都内において、受け子被疑者1名を現行犯逮捕した。

## 3 未然防止の現状と抑止対策

## (1) 未然防止件数等

【全国】 18,730件（前年比+3,724件）、約80.1億円（前年比+約 22.7億円）  
阻止率52.6%（前年比+0.7pt）【県内】 60件（前年比± 0件）、約 920万円（前年比-約2,216万円）  
阻止率65.9%（前年比-0.8pt）

## (2) 抑止に向けた取組～発生状況の分析結果を基に、アウトリーチ型で実施～

ア 「だまされないための対策」の推進

イ 「だまされても被害金を取られないための対策」の推進

定例会議 資料	高知県暴力団排除条例の適用について	令和5年2月15日 組織犯罪対策課
<p>1 勧告対象者</p> <p>(1) 供与者（社交飲食店等経営者） 甲 40歳代</p> <p>(2) 受供与者（暴力団員） 乙 50歳代</p> <p>2 高知県暴力団排除条例適用条文</p> <p>(1) 甲・・・第19条第1項第1号違反</p> <p>(2) 乙・・・第21条第1項違反</p> <p>(3) 勧告・・・第25条第2項</p> <p>3 違反内容</p> <p>甲は、高知市内で社交飲食店等4店舗を経営する者であるが、営業に関して暴力団の威力を利用する目的で、暴力団員である乙に対し、令和4年8月から同年10月までの間、高知市内において前後3回にわたって、関係者を介して現金合計15万円を渡し、乙は、甲の意図を知った上で、前記15万円を受け取ったもの。</p> <p>4 勧告年月日</p> <p>令和5年1月30日</p>		